

日本応用地質学会 東北支部 シンポジウムの活動

- 平成14年度 地質を知り未来に生かす
- 平成15年度 迫りくる宮城県沖地震に備える
- 平成16年度 迫りくる宮城県沖地震に備える
(その2)
- 平成17年度 迫りくる宮城県沖地震に備える
(その3)

平成14年度シンポジウム 平成14年11月15日

「地質を知り未来に生かす」 ～強く美しい東北創造へ～地質工学からの アプローチ～

- 東北全域の地質問題と土木工学との関わりについて事例を基に多方面から考えた
- 基調講演 2編
- 論文発表 8編
- パネルディスカッション
「明日の東北 土木・防災・環境へ、地質工学の役割」

平成15年度シンポジウム 平成15年11月14日

「迫りくる宮城県沖地震に備える」 ～今、あなたが居るところは大丈夫？～

- 阪神大震災の地盤災害と地形地質からの教訓
- 中川康一氏(大阪市立大学大学院教授-環境地球学)
- 宮城県沖地震に備える地形・地質・地盤の知恵
- 橋本修一氏(当学会東北支部代表幹事)

- 「地震災害危険度チェックリスト」
- 「地震だ！今いる道、帰る道大丈夫？」

平成15年度シンポジウム 平成15年11月14日

「迫りくる宮城県沖地震に備える」 ～今、あなたが居るところは大丈夫？～

- 1 せまりくる宮城県地震
.. 予想規模、発生確率、震度予測図
- 2 あの地震でこんな地震災害が起きた
- 3 あなたが居るところは大丈夫？
.. 東北・宮城・仙台の地形・地質の成立ち
.. 地震時の地盤としての強みと弱み
- 4 震度予測図と地質図から何を読み取る
- 5 地形地質地盤を知って防災に活かす

平成15年度シンポジウム 平成15年11月14日

「迫りくる宮城県沖地震に備える」 ～今、あなたが居るところは大丈夫？～

- 地質の特徴と弱み
- ①北上山地
 - ②沖積平野
 - ③脊梁山脈
 - ④丘陵・台地
 - ⑤仙台周辺宅地開発

平成15年度シンポジウム 平成15年11月14日

「迫りくる宮城県沖地震に備える」 ～今、あなたが居るところは大丈夫？～

- 地形・地質・地盤の知恵を地域防災に活かす
- ①亀裂が得意やすいところ、揺れやすいところは理由がある。
 - ②造成地に隠れているふるい地形・斜面に注意
 - ③足元に関心と理解を持って、今いるところの強みと弱さを知る
 - ④地形・地質・地盤の知恵を、きめ細かい地域地震防災マップ作りに盛り込もう

平成15年度シンポジウム 平成15年11月14日

「迫りくる宮城県沖地震に備える」
 - 今、あなたが居るところは大丈夫? -

ポスター展示

- ・ 強震動が予想される宮城県の地形・地質・活構造の概要
- ・ 78年宮城県沖地震での地盤災害
- ・ 5月の三陸南地震、7月の宮城県北部地震の概要と地震災害状況
- ・ 東北地方の地震発生機構と迫り来る宮城県沖地震の予想規模と確率
- ・ 78年地震以後大きく変貌した仙台周辺の宅地開発状況と、造成宅地の切盛地盤図

平成16年度シンポジウム 平成16年11月12日

「迫りくる宮城県沖地震に備える(その2)」
 - ここはどれだけ揺れる? 地域防災に役立つ地盤図、地質図の解説 -

地震被害想定について
 - 松澤宏氏(中部大学非常勤講師-防災工学)

宮城県地震地盤図について
 - 塚原光氏(地域防災力高度化推進センター・プロジェクトマネージャー)

地盤図、地質図の読み方と防災マップへの反映
 - 高見智之氏(当シンポジウムWG主査)

「こうなる、こうする表」

平成16年度シンポジウム 平成16年11月12日

「迫りくる宮城県沖地震に備える(その2)」
 - ここはどれだけ揺れる? 地域防災に役立つ地盤図、地質図の解説 -

パネル討論「防災に役立てる地質の情報、専門家から一般家庭へ」

話題提供: 仙台圏の活断層
 - 遅沢壮一氏(東北大学大学院講師-地質学)

話題提供: 町内防災マップ
 - 村主竹子氏(仙台市婦人防火クラブ連絡協議会会長)

話題提供: 地質調査の具体例
 - 五十嵐勝氏(東北地質調査業協会技術委員長)

平成16年度シンポジウム 平成16年11月12日

「迫りくる宮城県沖地震に備える(その2)」
 - ここはどれだけ揺れる? 地域防災に役立つ地盤図、地質図の解説 -

- 1 市街地の拡大→人工地盤の急増
- 2 近年の地震災害に学ぶ→地域特性、災害パターン
- 3 地形地質を知る→基礎知識と既存資料の活用
- 4 震度・被害予測を活用する→事前の知識
- 5 防災マップを活用する→イメージトレーニングと具体的な対策

平成16年度シンポジウム 平成16年11月12日

「迫りくる宮城県沖地震に備える(その2)」
 - ここはどれだけ揺れる? 地域防災に役立つ地盤図、地質図の解説 -

地震に備えるときの留意点

- ① 地盤を知る「よく揺れやすいか/建物の基礎は/建物の構造は」
- ② 周辺の地形を知る「崖や斜面から土砂・落石がないか、切土か盛土か」
- ③ 地盤災害に注意「液状化、盛土地盤の沈下・亀裂、地すべり」
- ④ 斜面災害に注意「液状化に夜斜面変動、地すべり、落石、斜面崩壊」

平成17年度シンポジウム 平成17年11月11日

「迫りくる宮城県沖地震に備える(その3)」
 - 気楽に「揺れ易さマップ」DIG -

○地震時の揺れ易さの違いを手軽に知って、町内の地震防災に役立てる

○一般に手に入る資料を使って、地質・地盤の専門家と一緒に「揺れ易さマップ」

DIG(ディグ)は、Disaster(災害)、Imagination(想像力)、Game(ゲーム)の略称で、参加者が地図を使って防災対策を検討する訓練のことです